

議 事 録

担当

南海電気鉄道株式会社
於保秀明

会議名称 第1回 道頓堀川水辺空間利用検討会
開催日時 2015年7月2日(木)10:00~12:00
開催場所 南海電気鉄道株式会社 本社4階第3・4会議室

出席者 (役職・敬称 略)(順不同)

【委員】加藤 座長(関西学院大学 名誉教授)、長尾(大阪市立大学 大学院経済学研究科 教授)、豊島(弁護士)、吉田(公認会計士)、
今井(道頓堀商店会)、稲本(宗右衛門町商店街振興組合)、高井(道頓堀商店街振興組合)、高橋(久左衛門町まちづくり協議会)、
山田(道頓堀一丁目西櫓振興町会)、長岡(高台連合振興町会)、大谷(塩草連合会・稲荷二丁目振興町会)、堀(道頓堀商店連盟)
【大阪市関連部局】木戸(中央区役所)、阪東(浪速区役所)、松原(西区役所)、橋本(経済戦略局)、山中(河川・渡船管理事務所)
【事務局】井上・吉矢・辻野・田淵・外勢・藤木・植田(建設局河川課)
【管理運営事業者】中島・今中・大幡・楠本・於保(南海電気鉄道株式会社)

提供資料

作成元

資料-1 これまで(平成24年度~26年度)の管理運営状況について
資料-2 平成26年度収支実績及び平成27年度予算について
資料-3 今後3年間(平成27年度~29年度)の取り組みについて
資料-4 広告に関する審査基準の改正について
資料-5 運営諸経費の徴収について
管理運営事業者(南海電気鉄道株式会社)

議 事 内 容

備 考
(発言者)

1. 議事

(1) 座長・座長代理の選任

- ・座長を定める
→委員の互選により加藤氏に決定
- ・座長代理を定める
→委員の互選により豊島氏に決定

吉矢(河川課)
吉矢(河川課)

(2) 報告事項

- ◆これまで(平成24年度~26年度)の管理運営状況について
- ◆平成26年度収支実績及び平成27年度予算について
- ◆今後3年間(平成27年度~29年度)の取り組みについて

- ・事務局から概要を説明
→社会実験として実施した平成23年度と比べると、イベントやロケーション撮影、オープンカフェの件数が着実に増えている。南海電鉄の努力の成果だと認識している。件数もさることながら日数も大きく伸びており、遊歩道の賑わい創出につながっていると思う。また、数字の分析もなされている。(10ページの表)
月別の開催日数…夏場が多いが冬場が少ない。ある程度仕方のないところではあるが、今後の課題だ。
エリア別開催件数…戎橋~太左衛門橋間がほとんど。これもある程度仕方のないところではあるが、回遊性の向上に取り組んでほしい。
イベントの実施内容…音楽イベントが多くなっている。小規模の音楽イベントが増えているようだ。これを冬場や戎橋~太左衛門橋間以外に誘致できれば、賑わいがさらに波及していくのではと感じている。
小規模であってもイベント件数が増えていくことは、大阪市としては非常に嬉しいことだ。一方で管理運営事業者としては管理コストの増加という新たな問題も発生しているようだ。個人的な意見だが、過日遊歩道で行われた映画の告知イベントを見た。登場した俳優が非常に喜んでいたので印象的だった。俳優が船に乗って現れ、それをたくさん見物客が両岸から見るといのは、ここでしかできないことだと感じた。また、たくさんの集客があると、周辺の店舗への波及効果も高いと思う。今後も頑張ってもらいたいと思う。
- ・平成26年度収支実績について説明
→平成26年度は管理運営事業として122万円の黒字を計上。しかしながら、地域活性化への貢献事業費として弊社として351万円拠出したので、実質的には229万円の赤字を計上した。平成24年度から平成26年度にかけては、いずれも赤字になった。向こう3年間はイベントや広告の件数を増やして何とか黒字を出していきたい。
- ・平成27年度予算について説明
→収入については、広告利用で600万円の収入を見込む。既存の広告枠について、より魅力的な広告媒体になるよう作り変える予定。費用について、委託料を528万円見込んでいる。先にご説明した通り、イベントやロケーション撮影の件数が格段に増えたことに伴い、主催者との打ち合わせや立ち合いの回数も増えている。これにより委託料が増えることを見込んでいる。広告宣伝費も増額を見込む。これは新規に広告を獲得するための宣伝費。平成27年度の営業損益は132万円の黒字を見込んでいる。しかしながら、平成27年度についても地域活性化への貢献費ということで、496万円を予算立てしている。イベントやイルミネーションなどを実施する予定。これを勘案すると、364万円の赤字になる。売上を伸ばし、黒字になるよう努力していく。
- ・今後3年間の取り組みについて説明
→冬場の賑わいづくり…冬季利用割引の実施、小規模ライブの誘致、イルミネーションの意匠変更などを予定
インバウンドの取り組み…オープンカフェ利用においてWi-Fi割引を実施
- 広告の収入獲得は難しいところはあると思う。ただし、湊町において新たにバーベキューの大規模な出店を誘致できているので、広告が難しかったとしてもこれで相殺できる可能性もある。
- 非常に素晴らしい資料だ。これからの3年間についても期待が持てる。イベントの件数が年々増えている。先日とんぼりリバーウォークを歩いた時に感じたことだが、賑わっているところと閑散としているところがある。全体的に若い人が多い印象を受けたので、特に若い人向けのイベントを誘致する方が効果的だと思う。まだまだとんぼりリバーウォークを知らない人が多いと思うので、ホームページを改善してはどうか。イベントの申込者に対しては便利なサイトになっているが、イベント予定については更新が滞っているように見受けられる。イベント主催者のリピーターを増やすことを目的にFacebookも活用できるのではないかと。ルールの改正や利用料金の割引引き情報などをメンバーに向けて簡単に案内できる。
- ホームページの更新が滞っているのは事実。一部リニューアルを予定しているので、その際に合わせて更新を検討したい。ただし、イベントの内容については開催の直前まで決まらないことが多いという事情もある。なるべく速やかな情報収集に努めたい。Facebookについては考えていなかったが、今後検討したい。
- 道頓堀橋から西側の利用状況が芳しくないのが、こちらもお願いしたい。以前にも指摘したが、植栽が枯れたまま。改善をお願いしたい。また、道頓堀橋下の通路に展示スペースがある。これを有効に活用して、西側に人を誘導してほしい。前回の検討会で水面を利用したイベントができるようになった。東西に動きのあるイベントを誘致してほしい。イルミネーションについても、道頓堀橋より西側にもやっていただけたらいいような仕組みを作っていただきたい。

辻野(河川課)
於保(南海電鉄)
於保(南海電鉄)
於保(南海電鉄)
辻野(河川課)
豊島委員
楠本(南海電鉄)
高井委員

- 西側のイベントを増やしていくことは喫緊の課題でもある。南海に回遊性を高めるイベントの誘致をお願いしている。
枯れたままの樹木については、南海と協議する。道頓堀橋の橋下についても、写真の展示など南海とともに検討したい。
- 7月11・12日の大阪ミナミ400年祭及びにぎわいスクエアにおいて、展示を予定している。
- インバウンドが爆発している。治安や災害などの問題もある。これからの3年間はこれまでとは全く違う3年間になるだろう。
リバーサイドが様々な情報の発信基地になればよい。広告の価格はもっと上げて良いと思う。資金をプールして欲しい。
- 良い意味でも悪い意味でも何が起こるか分からない。業務委託料は決まっています、その用途についても規定があると思うが、新たな投資についてはどこがするのだろう。南海が頑張る利益を上げて、それを投資に振り向けるというのが原則か。
市はある程度投資の用意があるのか。
- 大阪市も体力がなく、難しい。理想は業務委託の枠組みで収益を上げて、利益を還元してほしい。南海のイルミネーションはそのひとつだ。
- 人の集まりが戎橋～太左衛門橋間に偏りがちであることについて、ある程度致し方のないことにも思える。
- 西側の賑わいについての話が出たが、東側も是非お願いしたい。また、道頓堀川の水質状況はどうか。悪化していないか。
- 見た目には分かりにくいですが、水質は改善している。上流の淀川や大川と変わらない。市内河川では良い部類に入っている。
浚渫工事を実施している。最近まで下水の工事をしていた加減で一時的に泥が巻き上げられていたため、汚れているように見えたかもしれない。平成の太閤下水を昨年12月から供用開始した。道頓堀川と東横堀川に下水の吐き出し口があり、これまでは雨量によっては未処理の雨水が直接流れ込んでいた。これを改善するために巨大な貯留管を作り、これまで河川に流れ込んでいた汚水を貯留管に貯めることができるようになった。
- 川底が見えるような川になれば、また人が集まってくると思う。
- 道頓堀川は水深が3.5mと深い。現在の透視度は約1mを切っている。
というのも、道頓堀川の水は上流の大川から入ってきているが、その大川の水自体が、淀川から導水した水であり、養分があるため植物性プランクトンを多く含んでいることから透視度が高くなく、大川の水自体の透視度も1m程度である。
生物的には綺麗なのだが、見た目は透き通ったようには見えなく、合わせて水深が深いため川底が見えるまでにはならない。どうしても限界があって川底が見えるまでにはならないが、様々な施策によって昔に比べるとかなり綺麗になっている。賑わいのためにも今後もう少し向上すれば良いなと思っているが、ある程度のレベルでご理解も頂ければと考えている。
- 大川、淀川と上流の水を綺麗にしないとどうしようもない。
→カモやアユも見かける。良くなっているように感じる。

辻野(河川課)

木戸(中央区役所)
高橋委員

加藤委員

辻野(河川課)

長岡委員
稲本委員
辻野(河川課)

稲本委員
辻野(河川課)

加藤委員
長岡委員

(3) 調整事項

◆広告に関する審査基準の改正について

- 概要を説明
- ㎡あたりで換算すると安くなっているが、1年間となると広告主からすると相当負担になるのではないか。
- 最大で1ヶ月ということ、出稿期間はお客様に1ヶ月から任意で選んでいただける。
- 昨年度の実績がゼロであったということで、改善点が示されていて良いと思う。
- 広告の件は是非これで頑張ってください。

於保(南海電鉄)
長岡委員
於保(南海電鉄)
豊島委員
加藤委員

◆運営諸経費の徴収について

- 概要を説明
- 適正な手間費を徴収するのは必要だし、そうしないと結果的に良いものができてこない。そういう意味ではこれでもまだ安いのではとも思うが。
- 運営諸経費を徴収して、目に見えて利用者が減ったということになれば再検討の必要があるが、これぐらいの費用であればそれほど大きな影響はないように思う。
- 時間外立会費について、時間外の立ち会いは必ず行わないといけないのか。イベント主催者が必要ないと言っても立ち会うのか。
- 立ち会。設営・撤去時に事故が多いので、施設管理者として必ず担当を付けて安全管理に努めている。
- 今年1年やってみて、もし影響が大きい場合は見直しを図っていくということやっていたらと考えている。
- 会計上問題はないか。
- 管理運営の範囲内なので、特に問題はない。個人的には8,000円や時間1,500円は安いと思う。数字的な根拠はあるのか。
- 時給1,000円の8時間分と考えている。時間外については、時間1,000円を基準にして1.5倍している。
- 概ね良さそうなので、これで頑張ってください。

於保(南海電鉄)
長尾委員

豊島委員

加藤委員

於保(南海電鉄)
辻野(河川課)
加藤委員
吉田委員
於保(南海電鉄)
加藤委員

(4) その他

- 清掃がきちんとされていない。特に公衆トイレ。清掃会社に任せるだけでなく、実際にきちんと清掃がなされるよう管理してほしい。また、賑わいを作るためには安全・安心の環境作りが不可欠。警備も重要。ミナミ全体として取り組んでいきたい。
- 何が起こるか分からない一例だ。南海だけに任せるのではなく、これからの課題にしていきたい。
- オープンカフェの利用料について。戎橋～太左衛門橋間は賑わっているが、それ以外はそうではない。それ以外のエリアは安くして差をつけたらどうか。
- 今後の課題だ。

今井委員

加藤委員

堀委員

加藤委員

閉会